

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	227万人	107万人	-
観光消費額(年間)	1,013億円	466億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		14,225	13,682	13,760	7,760	△ 8,815
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(入湯税、広告事業雑入 等)	13,822	13,682	13,409	7,409	4,867 △ 8,815
一般財源		403	0	351	351	0
個票枝番	主な事業内容					
	観光パンフレット等の作成	9,925	9,847	9,500	3,500	3,267 △ 6,580

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,677	13,460	13,460	△ 300	
		0		
		0		
4,389	12,478	12,478	△ 931	
9,288	982	982	631	
査定額	説明			
9,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成し、観光キャンペーン等で活用した。 ・物産展や旅行エージェント、メディアを活用した誘客宣伝を積極的に実施した。
評価等	・積極的なキャンペーン活動や大手旅行エージェントへの誘客宣伝を展開したことなどが奏功し、平成31年1月～令和元年12月の観光客入込者数は473万人となった。 ・観光客の多様化するニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェント訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、観光客のニーズを捉えた新デザインのポスターの作成、またマイカー利用の観光客が増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。
評価等	・新型コロナウイルスの影響により、令和2年1月～令和2年12月の観光客入込者数は市町村合併以降最低となる230万人に減少した。 ・感染状況が少し落ち着いた秋には、国が実施するGoToキャンペーン等の効果により一時的に入込は増加したが、再び感染状況が悪化した冬期には減少傾向となった。 ・新型コロナウイルスの影響により人の流れが止まることは不可避であり、その間どう誘客宣伝を行っていくか、戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するための国内向け誘客宣伝、誘客対策に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入態勢を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	6,570	6,268	6,620	6,620	1,400	△ 4,868	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他()							
一般財源	6,570	6,268	6,620	6,620	1,400	△ 4,868	
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	2,000	2,000	2,000	1,400	△ 600
	案内本部の運営	4,020	3,708	4,060	4,060	0	△ 3,708
	交通量調査	550	560	560	560	0	△ 560

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,684	6,720	6,720	100
		0	
		0	
		0	
6,684	6,720	6,720	100
査定額	説明		
2,000			
4,160			
560			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーンや高山駅前にのぼり旗を設置するなど事前PRを実施した。 祭会場内に案内本部や誘導看板を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。 祭協賛会への支援を通じ官民一体となった取り組みを行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック等経済界協議会から通訳ボランティアの協力を得たことにより、外国人観光客へのスムーズな対応ができた。 春祭は18万2千人、秋祭は21万8千人と多くの人出となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の対応を強化し、国内外からの観光客の誘致を図る。 安全、安心な事業実施と観光案内を実施する。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。 新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた対応を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の高山祭は春秋とも中止となった。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては新型コロナウイルスの影響により、神事を除くすべての行事が中止となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 今後しばらくは外国人観光客の需要が見込めないと想定されるが、ポストコロナを見据えた外国人観光客に対するコミュニケーションを行っていく。 状況に応じた安全、安心な事業展開と観光案内を実施する。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。 新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた戦略的な誘客活動をすすめる。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心して高山祭が見学できるよう、観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・女性グループ、親子連れ、シニアグループなどを始めとした様々な国内外観光客層に、それぞれに適した活動プラン(体験プラン)の提供やおもてなしの充実を図り、個人観光客の増加に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画				
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	227万人	107万人	-
観光消費額(年間)	1,013億円	466億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		26,000	23,694	16,000	16,000	14,915	△ 8,779
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)		3,700				△ 3,700
	その他(入湯税)	26,000	16,000	16,000	16,000	14,915	△ 1,085
一般財源			3,994	0	0	0	△ 3,994
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	16,000	16,000	16,000	16,000	14,915	△ 1,085
	高山祭屋台の特別曳き揃え実行委員会負担金	10,000	7,694				△ 7,694

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算	実施計画額	16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,000	15,000	15,000	△ 1,000	
		0		
		0		
2,922	15,000	15,000	△ 1,000	
12,078	0	0		
査定額	説明			
15,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝 ・交通事業者と連携した観光キャンペーン ・岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行エージェント訪問やパンフレット、ホームページ等による情報発信 ・旅行博への出展 ・高根トンネルの開通を契機とした長野県伊那市及び木曾町との連携事業の実施 ・公開番組収録「みんなDEどーもくん！」 ・新元号制定記念「高山祭屋台の特別曳き揃え」の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動を積極的に展開したほか、様々な媒体を活用した情報発信により、全国各地から多くの観光客が高山市を訪問され、平成31年1月～令和元年12月の観光客入込者数が、473万人となった。 ・国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 151,099人) ・高根トンネルの開通を契機とした誘客事業を、官民一体となって実施することができた。 ・新元号制定記念「高山祭屋台の特別曳き揃え」は11万3千人の人出となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化する。 ・旅行者のニーズや観光動向に対応した効果的な誘客活動を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた戦略的な誘客活動をすすめる。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・岐阜県や関係団体等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行に特化したプログラム冊子の作成、ホームページ等による情報発信 ・飛騨高山観光ゼミの共催 ・関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 ・JR高山本線運転再開感謝イベントの実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって様々な媒体を活用した情報発信等により、例年と比べれば減少したものの、観光客入込者数が230万人となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・コロナ禍における旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など、民間団体と連携した誘客活動を展開するために必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62130 飛騨高山ウルトラマラソン開催事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画			
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域のPR、新たな観光客の獲得及び地域経済活性化を図る。	概要	・飛騨高山ウルトラマラソンを開催する。 ・各種団体や企業、市民ボランティアなど官民一体となった取り組みを行う。 ・大会に必要な物資等について市内を最優先として調達する。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,700	1,700	1,700	1,476	1,475	△ 225
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税)	1,000	1,700	1,000	1,000	0	△ 1,700
一般財源		700	0	700	476	1,475	1,475
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山ウルトラマラソン実行委員会負担金	1,700	1,700	1,700	1,476	1,475	△ 225

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
	0	0	△ 1,700
	0	0	△ 1,000
	0	0	△ 700
査定額	説明		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・第8回飛騨高山ウルトラマラソンを開催し、全国各地から3,816人が参加した。 ・エイドステーションにおいて飛騨牛など特産品を提供し、おもてなしの取り組みを通じ飛騨高山のPRを行うことができた。
評価等	・募集人数を拡大し、過去最高の参加人数となった。 ・年々参加者が増加しており、大会の開催による市内への経済波及効果は高い。 ・応援者も多数同伴されており、魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。 ・参加人数の増加に伴い、駐車場や宿泊施設の確保、コースの安全確保などが課題になっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・第9回飛騨高山ウルトラマラソンの募集自体は行ったが、新型コロナウイルスの影響により大会中止となった。 ・募集を行ったのち中止となったため、5大会連続エントリー者に対し記念品を提供した。
評価等	・年々参加者が増加しており、大会の開催による市内への経済波及効果は高い。 ・応援者も多数同伴されており、魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。 ・駐車場や宿泊施設の確保、コースの安全確保などが課題になっている。 ・コロナ禍においても開催を望まれる声は多く、今後は新しい生活様式に対応した大会運営を検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・支所地域の資源や魅力を活用し、高山駅周辺などの中心市街地と支所地域が結ばれた市内観光ネットワークの構築に努めます。また、中部圏の広域観光ネットワークを拡充し、高山市が中部圏の広域観光拠点となるような機能整備に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	227万人	107万人	-
観光消費額(年間)	1,013億円	466億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		171,063	164,497	174,063	170,280	156,936	△ 7,561
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税等)	171,000	164,497	174,000	158,217	89,063	△ 75,434
一般財源		63	0	63	12,063	67,873	67,873
個票枝番	主な事業内容						
	観光協会の運営に対する助成	16,000	15,240	16,000	16,000	14,961	△ 279
	観光客誘致推進に対する助成	100,000	100,000	100,000	112,000	103,524	3,524
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063	6,063	6,063	0
	コンベンション開催に対する助成	18,000	13,194	18,000	18,000	25,490	12,296
	観光イベント開催に対する助成	31,000	30,000	34,000	18,217	6,898	△ 23,102

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		171,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
201,113	171,063	171,063	△ 3,000	
		0		
		0		
112,432	137,706	137,706	△ 36,294	
88,681	33,357	33,357	33,294	
査定額	説明			
16,000	高山・奥飛騨:限度額3,700千円、その他8地域:限度額1,300千円			
100,000	メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業			
6,063	2市1村で負担			
18,000				
31,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:81件、参加者数(飛騨地域除く):14,768人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な誘客キャンペーンやイベント等を実施した結果、観光客入込数は順調に伸びており、平成31年1月～令和元年12月の観光客入込者数が473万人の過去最高となった。 コンベンションは、更に大規模な大会や国際会議等を積極的に誘致する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き民間団体の取り組みを支援し、より効果のある事業を実施する中で観光客の誘致活動を積極的に行っていく。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:8件、参加者数:1,255人 コンベンション開催支援事業(教育旅行支援) 学校数:213校、利用者数:20,191人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、観光客入込数は激減したが、コロナ禍における対策を施したイベントや、コロナに左右されにくい客層(教育旅行等)をターゲットとした事業展開など、今後の誘客活動の一つの方向性を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き民間団体の取り組みを支援するとともに、コロナ禍においてより効果のある事業展開の提案も行い、官民一体となってこれからのポストコロナ社会における観光客の誘致活動を積極的に行っていく。

担当課 予算要求 ポイント	・観光関連団体や観光関係事業への支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨山脈を活用した国際山岳観光の振興に努めます。また、温泉ガストロミーツーリズム(温泉地内を歩き巡って、地元食材を食べて、温泉を楽しむツアー)やクアオルトウォーキング(自然・気候・地形を活用した健康療法)などによる誘客に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画				
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課・海外戦略課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な観光施策を推進する。 ・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。 ・携帯端末や専用機器を活用し、様々なニーズに対応した観光情報を発信する。 ・各種協議会への参加を通じた積極的な誘客活動を展開する。
----	----------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	227万人	107万人	-
観光消費額(年間)	1,013億円	466億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		23,627	22,487	24,426	275,433	261,169	238,682
特定財源	国費(市内宿泊施設利用促進事業費)				40,000	40,000	40,000
	県費						
	その他(繰入金等)	100	8,304	600	27,383	5,650	△ 2,654
一般財源		23,527	14,183	23,826	208,050	215,519	201,336
個票枝番	主な事業内容						
	各種協議会負担金	14,452	14,452	14,452	14,452	13,668	△ 784
	芸妓育成に対する助成	1,500	1,176	1,500	1,500	863	△ 313
	地域資源を活用した誘致	1,600	1,285	1,624	1,624	24	△ 1,261
◎ 1	教育旅行調査			1,000	1,000	0	
	新型コロナウイルス感染症に対する経済対策補助事業				251,007	241,938	241,938
	乗鞍スカイライン復旧記念イベントに対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額		23,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
54,810	21,146	21,146	△ 3,280			
21,088				△ 600		
33,722	21,146	21,146	△ 2,680			
査定額	説明					
11,552						
1,500						
1,124						
0						
0						
1,000						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 ・各種協議会等に参画し、様々なテーマでの誘客宣伝活動を実施した。 ・おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ・地域資源を活用した観光振興として、ONSEN・ガストロミーツーリズムを推進するとともに、乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種観光振興事業を推進することで、平成31年1月～令和元年12月の観光客入込者数が473万人となった。 ・おもてなし文化後継者育成を支援し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 ・観光統計を踏まえ、多様化する観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析に基づき、戦略的観光施策を検討する。 ・地域資源を活用した観光振興を推進する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた観光振興を推進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 ・各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 ・おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ・ONSEN・ガストロミーツーリズム、乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響及び令和2年7月豪雨の影響により、それぞれ実施することができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 温泉利用宿泊施設支援事業:24,244千円(交付件数 135件) 宿泊施設利用促進事業:44,082千円(利用者数 11,993人) 観光振興事業:15,865千円(交付件数 58件) 感染防止おもてなし支援事業:157,747千円(交付件数 985件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・継続しておもてなし文化後継者育成を支援し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 ・各種協議会と連携した事業を行うだけでなく、それぞれにおいて保有する有益な情報を共有することができた。 ・観光統計を踏まえ、コロナ禍における観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 ・観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、コロナ禍における戦略的観光施策を検討する。 ・市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・広域で連携した観光客誘致に必要な経費を計上 ・観光統計や交通量調査など観光関連の情報の収集に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
枝番・内容	1 教育旅行調査		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	6	商工費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	2	観光費	内線	2217
			<input type="checkbox"/> H31新規・拡充			目	1	観光振興費	作成年月	R3.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	・若年層の認知度向上に向け、教育旅行に係る調査を行う
----	----------------------------------	----	----------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	教育旅行調査委託料	
対前年度増減額(当初予算)		1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	教育旅行に関する調査と結果を踏まえた施策の展開を検討する。 ・教育旅行入込みデータの詳細分析 ・全国の中学校および高等学校に対するアンケート調査 ・旅行代理店へのアンケート調査
[スケジュール]	新型コロナウイルス感染症の影響により今後検討 当初スケジュール ～4月末 調査方針・方法の検討 5月～8月 委託業者選定・調査 9月～10月 分析・施策方針の検討
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	新型コロナウイルス感染症の影響により、本来のニーズに変化が生じていることを踏まえ、本調査は次年度以降に見送り、代わりに新型コロナウイルス感染症による影響およびニーズの変化について調査した。
[評価等]	・学校(2070校)および旅行会社(105店)に対してアンケート調査を実施した。 ・調査結果を踏まえ、次年度以降のコロナ禍における誘致活動に活用する。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	229,721	187,012	219,520	396,124	368,432	181,420	
特定財源							
国費(観光施設整備事業費 1/2)		13,219				△ 13,219	
県費(新穂高温泉園地管理費等)	1,774	1,774	274	274	274	△ 1,500	
その他(指定管理事業雑入(観光施設)、市債等)	54,928	25,951	53,616	63,116	69,458	43,507	
一般財源	173,019	146,068	165,630	332,734	298,700	152,632	
個票枝番	主な事業内容						
	観光施設の管理運営	148,422	145,737	155,720	294,597	267,585	121,848
	施設整備	81,299	41,275	63,800	101,527	100,847	59,572

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		220,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
348,283	218,010	218,010	△ 1,510	
274	274	274	0	
23,778	23,907	23,907	△ 29,709	
324,231	193,829	193,829	28,199	
査定額	説明			
160,510				
57,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設22施設(うち指定管理施設20施設)の管理運営 ・観光施設の維持修繕等(飛騨民俗村の旧若山家屋根葺替など)を実施 ・特選館あじかの民間による運営(R2.4~)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・民間と競合する施設もあり、公共施設等総合管理計画に基づき、一部の施設では譲渡等を検討している必要がある。 ・指定管理者制度の導入により、利用者へのサービス向上や運営経費の縮減が図られている。 ・滞在型・通年型観光の推進のためにも、観光施設のさらなる有効活用は重要である。 ・老朽化が進む中、施設の計画的な修繕が必要となっている。 ・休止施設の活用策について検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕をすすめる。 ・休止施設の今後の活用策を検討する。 ・公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた施設の管理運営を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設20施設(うち指定管理施設18施設)の管理運営 ・観光施設の維持修繕等(庄川の里旧木下家屋根葺替など)の実施 ・新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理(野麦の里の廃止)を実施した。 ・指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 ・施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 ・休止施設の活用策について検討が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が大幅に減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕をすすめる。 ・休止施設の今後の活用策を検討する。 ・公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の運営及び施設整備に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び周辺エリアの再整備
----	--	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	500万人
飛騨の里の入場者数(年間)	15万人	5万人	29万人

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				72,600	96,525	43,953	43,953
特定財源	国費(景観改善推進事業費 1/3)					3,300	3,300
	県費(観光施設整備事業費 1/4)			5,000	5,000	2,039	2,039
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)			35,000	35,000	38,452	38,452
一般財源				32,600	56,525	162	162
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	飛騨民俗村再整備構想に基づく整備			72,600	96,525	43,953	43,953

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
57,683	14,350	14,350	△ 58,250	
	1,600	1,600	1,600	
5,776			△ 5,000	
			△ 35,000	
51,907	12,750	12,750	△ 19,850	
査定額	説明			
14,350	トイレ解体、高圧受電設備撤去、看板設置ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛騨民俗村の駐車場便所整備など)を実施 ・令和2年度利用者数(平成31年度利用者数) 飛騨民俗村 52,081人(150,381人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等のバリアフリー化の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求ポイント	・飛騨民俗村再整備構想の推進に必要な経費を計上
--------------	-------------------------

財務部 査定の考え方	・飛騨民俗村再整備については、実施計画の見直しによる
------------	----------------------------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
枝番・内容	1 飛騨民俗村再整備構想に基づく整備		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線		2209
		<input type="checkbox"/> H31新規・拡充		目		2	観光施設費	作成年月		R3.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨民俗村の再整備を行い、観光振興を図ることで、地域経済の発展に資する。	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び関係する地域の再整備を行うもの
----	---------------------------------------	----	---------------------------------------

[参考] H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	72,600
主な経費	・飛騨民俗村等の再整備に係る経費	
対前年度増減額(当初予算)		72,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	72,600
	繰越	0
	補正等	23,925
	最終	96,525
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	14,350
主な経費	・飛騨民俗村等の再整備に係る経費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 58,250

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・旧富田家屋根葺替 ・駐車場便所整備 ・文学散歩道土地購入 ・入館者用バリアフリー用品購入(電動車いす)
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響等により検討
当初スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・5月～3月 旧富田家屋根葺替 ・6月～3月 駐車場便所整備 ・4月～3月 文学散歩道土地購入 ・6月 入館者用バリアフリー用品購入 ・7月 展示用パネル、案内看板等作成

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場便所整備 ・入館者用バリアフリー用品購入(電動車いす)
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して施設を訪れ、飛騨の民俗文化を体験・体感できるよう、駐車場便所(多目的トイレ)整備や電動車いすを配置するなど、施設等のバリアフリー化の推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・2階建便所等建物解体 ・高圧受電設備改修 ・案内看板設置
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・6月～2月 2階建便所等建物解体 ・6月～3月 高圧受電設備改修 ・1月～3月 案内看板設置

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営スキー場を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・モンデウス飛騨位山スノーパーク及び飛騨舟山スノーリゾートアルコピアの管理運営を行う。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	137,091	102,246	66,140	96,619	92,680	△ 9,566	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(観光施設使用料等)	139	170	139	139	303	133	
一般財源	136,952	102,076	66,001	96,480	92,377	△ 9,699	
個票枝番	主な事業内容						
	施設の管理運営(指定管理)	117,117	82,492	35,290	67,290	63,351	△ 19,141
	施設整備	19,000	18,780	30,000	28,479	28,479	9,699

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		46,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
92,279	61,210	61,210	△ 4,930	
109	139	139	0	
92,170	61,071	61,071	△ 4,930	
査定額	説明			
35,900				
24,300				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 平成31年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 13,133人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 4,648人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱として、関連する宿泊施設や飲食施設に経済的な効果を与えている。 重要な地域雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されるなど、冬季の市民スポーツ・レジャー施設となっている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> モンデウス飛騨位山スノーパーク、飛騨舟山スノーリゾートアルコピアについては、次の方向性について地域住民等と協議し、それを踏まえた対応を図る。(「どちらか一方のスキー場を廃止する」「存続するスキー場は、市営スキー場としての役割等を果たすことができるよう、機能の充実を図る」「廃止するスキー場を有する地域においては、地域の状況に応じた地域振興策を検討する」「スキー場を存続する地域と廃止する地域が緊密に連携することで、地域一体としての魅力の向上と活性化を図る」) 	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和2年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 23,480人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 16,347人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱として、関連する宿泊施設や飲食施設に経済効果を与えている。 重要な地域雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されるなど、冬季の市民スポーツ・レジャー施設となっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が減少しているものの、暖冬であった前年度の利用者数を上回っている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の施設のあり方や地域住民等の意見を踏まえ、市営スキー場の検討を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。 	

担当課 予算要求 ポイント	・リフト等施設の改修整備に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、潜在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	81.7%	77.3%	↗
高山市への再来訪の意向	98.7%	97.9%	98%
観光客入込者数(年間)	473万人	230万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		21,515	21,025	22,130	22,123	20,673	△ 352
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)		9				△ 9
	その他(入湯税等)	8,800	21,016	18,427	18,427	469	△ 20,547
一般財源		12,715	0	3,703	3,696	20,204	20,204
個票枝番	主な事業内容						
	観光案内所の管理運営	18,185	17,716	18,800	18,793	17,866	150
	まちかど観光案内所の管理運営	3,330	3,309	3,330	3,330	2,807	△ 502

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,697	20,930	20,930	△ 1,200	
4,680	400	400	△ 18,027	
17,017	20,530	20,530	16,827	
査定額	説明			
17,600				
3,330				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 平成31年度利用者数 飛騨高山観光案内所 223,297人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 10,232人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新穂高センターの指定管理者の指定に向け、他施設とのグループ化など募集方法の見直しが必要となっている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者へ再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた施設の管理運営を行う。 	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーティションによる間隔の確保)の実施 令和2年度利用者数 飛騨高山観光案内所 40,117人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 5,927人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が大幅に減少している。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者へ再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。 	

担当課 予算要求 ポイント	・観光案内所の運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに